

育成モノづくり人材

Vol. 71

東京都立町田工業高校



山之口校長

東京都立町田工業高校は、2001年に学科を改編し、工業高校としては都内唯一となる「総合情報科」を設置した。

コンピュータ技術やモノづくりを学ぶ。さらに専門性を高めるため、04年には学科にひも付く5系列のコースを設け、IT社

コンピューターグラフィックス(CG)やアニメーション、グラフィックなどを学び、デザイン技術を習得す

【DATA】 ▷校長=山之口和宏氏 ▷所在地=東京都町田市 ▷学科構成=総合情報科 ▷総定員=525人 ▷主要設備=パソコン1台以上、シスコネットワーキングアカデミーに準じたルーターやスイッチなどの実習機材、各種デザイン系ソフト、撮影スタジオ、旋盤、フライス盤、レーザー加工機など ▷主な進路=日野自動車、ファナック、東京精密、アマノ、京王電鉄、大興電子通信、東海大学、拓殖大学、東京工科大学、トヨタ東京自動車大学校など

IT系課程でシステム認定

会に対応した専門教育の場を提供している。1年生は工業系の実習を受けながら情報を活用する基礎的な能力を養い、2年生以降は選択した系列ごとに専門的な学習を進める。情報デザイン系列は

会に対する機械システムについての知識と技術を身につける。機械システムはオフィス業務で使うソフトウエアを円滑に使いこなすためプログラミング技術も学ぶ。などを製作する。電気システム系列はシステムに関する知識と技術を高め電力システムを活用する能力を身につけるため、17年1月からグローバルIT工



ベトナムを訪問し国際理解に対する視野を広げる生徒ら

山之口校長は「日本企業の海外の活躍を自分で見て、現場の従業員を動かすミドルリーダー的な人材を生み出しきつかけになればいい」と生徒の成長を期待する。

（西東京・松崎裕）

（金曜日に掲載）

シニアプログラムを開始。7月のベトナム訪問では5泊6日の日程で生徒12人が国際協力機構(JICA)をはじめ、NTTデータや富士通、NECなど

の海外のオフィショア開発拠点を視察し、知識

や技術を学ぶだけでなく現地の開発環境がどう

のようになっているか

を目の当たりにした。

さらにモノづくりと

ITに関わる人材として、経済や企業、国際

的な教育プログラム

を提供する。システムの資格で

持つITエンジニアを

期待する。

（西東京・松崎裕）

（金曜日に掲載）